

2024年5月30日

福島県教育長
大沼 博文 様

日本共産党福島県議会議員団
団 長 神山 悦子
副 団 長 宮川えみ子
幹 事 長 宮本しづえ
政調会長 大橋 沙織

メタンガスに引火し爆発事故を起こした夢洲の「大阪・関西万博」に 児童・生徒を学校行事等での参加は慎重対応を

来年2025年に大阪・関西万博の開催が予定されていますが、今年3月28日、万博会場予定地に建設中のトイレで、溶接作業中にメタンガスが引火し爆発事故が発生しました。コンクリート床や床点検口だけでなく、地下から1階の天井まで破損していた重大事故だったことが判明しています。

事故が発生した会場予定地の夢洲（ゆめしま）1区は、焼却の残しや上下水汚泥などを埋め立てた現役の廃棄物最終処分場です。立入禁止区域になっていたところでした。

埋め立て物の分解に伴って可燃性メタンガスが今も発生しており、約80本のガス抜き管がありますが、大阪広域環境施設組合の調査によれば、管からのメタンガスの発生量は近年増加しており、昨年夏期には1日約2トンも発生していたことが分かりました。しかも、有害ガスが出ているのは管だけでなく、今回のように土壌からも発生し、地下空間にたまっていたガスに火花が引火して爆発が起きています。

ところが、日本国際博覧会協会は、今回の爆発事故を受けてガス抜き管の排出口の付け替え等をしているものの、開催中の再発防止策については何も示していません。

大阪府は児童・生徒を公費で参加させるとしていますが、3月の爆発事故を受け、大阪府内の市町村教育長は、安全・安心に不安があるとして対応を求める緊急要望書を府教育委員会へ提出。大阪府交野（かたの）市長は、学校単位での参加は不要と表明しています。

一方、福島県内の学校では、児童・生徒の修学旅行先に選定する動きがすでに出ています。ガス爆発が起きる可能性がある危険な夢洲に、子どもたちを動員すべきではありません。

記

一、今年3月、ガス爆発事故が発生した大阪夢洲で来年開催予定の「大阪・関西万博」に、県内の児童・生徒を学校行事等で参加させることについては、慎重に対応すること。

以上